

12月1日

昭和59年(1984) No.725

編集

越谷市役所企画部広報広聴課

広報

じがや

越谷と
わたり

◇ 152

11月15日、あいにくの雨もようですが、学級で第一学校給食センターを見学しました。クラスだけを行ったというのは、計画はいろいろあったのですが実行は初めてでした。

1時30分ごろにセンターに着き、残さないを班ごとに見せてもらいました。班ごとにセンターへ行く目的を立てました。その時

でも少ない日だとか……。
食器を洗う所は、お手洗い場などのものが3つくらいありました。作る場所も見せてもらいました。その時

びっくりし、感心しました。それか

聞は作っていないか

つけられ機械な

じを見ていないふ

いている人もいま

給食センターを見学して

大袋中学校一年
高田奈津江(13歳)

休む、作る日には作る、という機械的な毎日だと思っていましたが、研修会や掃除をやっていると聞いて、びっくりし、感心しました。それから

が、センターの清潔さでした。これ

はあたりまえのことですが、工プロ

セントラルの多さに驚きました。

セントラルのみなさんは、最後まで

ニコニコとして仕事に励んでいました。

た、これまでへんな仕事を、わ

たしたちのためにやつてくれている

のです。それでわたしたちより

多く食べてもらおうと、研究に研究

を重ねています。学校の給食家の

食事でも作ってくれる人がその食

事についての成分を調整してくれ

るのです。栄養士の方も、毎日の献

立を考えたり、少しでも残さないで

いどん見学させていただきありが

とうございました。とてもよい勉強

になりました。

はつてあつた模造紙を見てびっくり

しました。頭の先から足のつめの先

までチェックするところが、ずらり

んおひそがし



これからも残さず給食を
食べます、と高田さん



元気に育て

ぼくらのホタル

「元気に育ってね」——11月17日、増林地区の掛樋堀(かけひばり)でホタルの幼虫放流会が開かれ、小学生から大人まで70名のホタル飼育ボランティアが約3000匹の幼虫を放流しました。この幼虫は、ホタルのすめるような環境づくりをすすめるため、自分たちでホタルの幼虫を育てて自然に帰してやろうというもので、8月にボランティアの方に配布された時は体長2ミリほどでしたが、いまでは2センチぐらいに成長しました。エサのタニシを探したり水換えをして、一生懸命に育てた幼虫との別れにちょっぴりさみしそうな友だちもいましたが、みな来年の夏が楽しみと目を輝かせていました。

今月は、市税第7期の納期です。納期限は12月31日(月)です。納期限内納付にご協力ください。

